

射水市立大門小学校 学校だより
三輪の結 大門っ子の本気

第 11 号

令和 7 年 12 月 23 日

2 学期を振り返って

まだまだ暑かった 8 月 27 日に始まった 2 学期でしたが、季節は夏から秋、そして、冬と変わり、2 学期の終わりを迎えました。先日の保護者懇談会では、日々の学習やいろいろな行事を経て、子供たちが一回り成長したことを、お伝えできたのではないかと思います。

2 学期の始業式では、大切にしてほしい 2 つのことを伝えました。1 つ目は、自分の名前を丁寧に書くこと。時々、子供たちが自分の名前をどのように書いているかを見に行くと、意識して落ち着いて丁寧に自分の名前を書いている子供がたくさんいました。

2 つ目は、「みんな違ってみんないい」（差別をしない、相手を傷つけることをしない、いやなことがあったら誰かに相談する）ということでした。子供たちには、他者との関わり合いを通して社会性を身に付けてほしいと願っています。けんかやトラブルは当たり前に起こります。それを通して、仲直りすることや協力することを学んでほしいと思っています。子供は、成長の途中なので、失敗もします。失敗をさせないようにするのではなく、失敗から学ぶことも大事だと考えます。

学校は勉強をするところであり、社会性を身に付け、子供を成長させることです。これからも保護者の皆様と、子供を真ん中において、子供たちの健やかな成長のために協力していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

家庭でもデジタル・シチズンシップ教育を！

前回の学校だより第 10 号で、デジタル・シチズンシップ教育に取り組んでいることをお知らせしました。今回は、「家族で学ぶデジタル・シチズンシップ」（総務省）を紹介します。子供たちには、今その重要性を指導していますが、実は、大人のほうが分かっているようで分かっていないことがあります。冬休みには、お子さんと一緒に学んでみてはいかがでしょうか。



イナガキヤストさんの写真ワークショップ

12月16日（火）に、5年生がフォトグラファーイナガキヤストさんから写真の取り方について教えていただき、学習用端末で実際に写真を撮る活動を行いました。水平に撮る、高さを変えて撮る、近づいたり離れたりして撮る、何枚も撮る、これらポイントで子供たちが撮った写真は、とても素敵です。



大門の祭り

1学期に、3年生が「大門のすてき」について調べ学習をしていた時に、「本校の子供たちは、大門のことをあまり知らない、関心がないのでは？」と思いました。校区が広いことから、それぞれの地区の文化に触れることが少ないからではないかと考え、私が（福山）が行ける範囲で、それぞれの地区に出かけ、お祭りの様子を写真や動画で撮影し、朝の児童玄関で流し、紹介してきました。地区のお祭りに関わっている子供たちは、他の地区のお祭りにも関心を示してくれるようになってきました。

